

【ドール アニマルワールド フェスティバル 2024 のご案内】

寒さ厳しき折、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

2023年11月の「ドールアニマルウィンターフェスティバル」では例年通り多くの来場者をお迎えすることができましたが、一方（一部ではありますが）中国系バイヤーの問題行動が目につきました。実行委員会でも対策として会場案内(チラシ)にイラストや中国語を併記し、マナー向上に努めてはいるのですが、対策として不十分だったようです。問題を単純化すると中国系バイヤーの消費熱は冷ましたいが、日本人顧客の購買意欲は上げたいというブレーキとアクセルを両方踏むような構図になると思います。簡単なことではないと思いますが、イベント終了後に多くの意見や情報をお寄せいただき、参考にしながら今回の改善を考えました。トライアンドエラーになるとは思いますが、今後もお付き合いいただければ幸いです。

近年、日本のハンドメイド作品が、海外で注目されています。そのため（当イベントに限らず）外国人バイヤーの来場が増加傾向にあります。多くはマナーを守って買物をされていますが、一部の中国系バイヤーは、人を雇い、抽選を優位に進め、買い占めを行う事案が発生しています。また該当ブースに人が集まり、近隣のブースの営業妨害という二次被害も発生してしまいます。

実行委員会でも2023年より中国語の通訳スタッフの配置など様々な対策を行っていますが、根本的な解決への近道は出展者の方が顧客数に見合った販売方法を選択することです。そこで当イベントでは「販売方法に関する取り決め（本紙裏面）」を作成しています。皆様が安心して出展できるように厳守をお願いいたします。

※抽選販売等を考えている方は、「販売する商品の内、先行入場時に販売せず一般入場の時間に抽選販売する商品がある」欄に必ず「有」とご記入ください

【要点など】

① 一部の外国人来場者 問題行動への対策 ※追加分

- ・専門の警備員の配置（2～3名） 野外コンサートの警備を主に請け負っている会社に依頼
- ・「先行入場チケットの前売り化」と「細分化」 奇数は日本人のみ、偶数は外国人優先
- ・先行入場チケットの購入順を「出展者が半券を受取り後」に主催者がくじ引きで決定する
（例）箱から500枚の券の内1枚を引く→250番だった場合 購入順が 先頭 250～500～1～249となる
※中国系バイヤーの「良番集め」への対策

② 募集期間と募集方法 〈募集期間 12月30日（土）～ 1月15日（月）〉

継続出展枠は過去2回(6月か11月)のいずれかに出展している方が対象となり**130ブース**、
一般出展枠は**20～25ブース**と決めて同時に募集します（枠を超えた場合は抽選+実行委員会選出）
※申込書の右上に印がある場合は継続出展枠、無印の場合は一般出展枠となります
※申込書には、抽選に伴い「落選時のキャンセル待ち希望欄」があります あわせてご記入ください

③ 出展料の支払日について（自己都合によるキャンセルは返金なしへ）

- ・出展料の支払いは **当選連絡後 ～ 1月31日まで**（入金後、出展確定）
- ・自己都合によるキャンセルの場合、返金はありません

さて、2024年のドールアニマルワールドフェスティバルの開催日は **6月15日(土)** になります

会場: **浜松町の都立産業貿易センター浜松町館 4階** (1フロア)

1日のみの開催 (土曜日) 日曜日は東京観光など楽しめると思います

2024年もスタッフ一同、より良いイベントになるよう努力してまいります。6月のドールアニマルへのご参加を心よりお待ちしております。

2023年12月 吉日 ドールワールド NAW 実行委員会一同

〔予告〕2024年12月1日(日)「ドールアニマルウィンターフェスティバル」開催予定

近年、外国人バイヤーの買い占めや、それに伴うブース前の異常な混雑などが問題になっています。しかし、これらは顧客数にあった適切な販売方法を選択することで防ぐことができます。欲しいと思う人に作品を公平に届けるため、また近隣のブースに迷惑をかけないためにも下記を参考に適切な販売方法を行ってください。

まず、当イベントでは「先行入場のオープン時（販売は 11:55）に限り、1 回だけチケットの番号順での販売」を導入しています。詳細は右の QR コードを読み込み、紹介ページをお読みください。



〈先行入場チケットのメリット〉

- ・入場時にお客様が走ってブースまで行く必要性が無くなり、落ち着いて安全に入場できる
- ・出展者がお客様に対して、整理券（または抽選券）を配布する手間が省ける
- ・仮に転売目的の人が複数来場しても、販売開始時間が同じなので分散する
- ★2024 年より先行入場チケットの販売を前売券化する予定です これにより早朝からの来場が不要になります

〈先行入場チケットのデメリット〉

- ・先行入場の時間帯に完売してしまった場合、一般入場の時間に作品を見てもらうことができない

上記を理解したうえで「顧客が 1 ブース 14 人程度、半ブースは 8 人程度」であれば、先行入場のシステムで十分対応できると思います。（スタッフ数や梱包の必要度に応じて対応人数は変わりますが…）

しかし、それ以上の顧客が集まってしまうことが予想される場合は、先行入場での販売をせずに、一般入場の時間帯に「事前抽選によるブース訪問時間指定販売（+個数制限）」を行ってください。

事前抽選によるブース訪問時間指定販売 とは ※個数制限もします

事前に SNS 等で購入希望者を募集し、くじ引き等（主に非公開）で順番を決め、メール等で購入順と集合時間を伝え、会場で販売する方法 [希望の商品がなければ辞退可能]

事前に購入できるお客様を決めてしまうので、当日の混雑は劇的に緩和できますが個々の連絡は大変です

また、情報を知らないお客様は購入機会を与えられないので、事前 PR が大切になります

なお、当日販売する商品を全て事前に UP するわけではなく「こんな感じの物を出します」程度で募集しても集客できるケースもあります

※メールの文面から海外の転売業者と判別できる場合は事前に除外することも可能

●「事前抽選によるブース訪問時間指定販売」を行わなくてはならない場合

- お客様がブース前に「1 ブースは 10 人以上」「半ブースは 5 人以上」並んでしまうことが考えられる場合（先行入場の時間は除く） ※普通に先着順で販売する場合は上記の人数でも少し不安があります
- 「海外のショップに委託販売の経験がある」または「海外の展示会に出品した経験がある又は出品予定」の場合 ※実行委員会に要相談（実施に関してはケースバイケース）

【一般入場時間に他の方法で抽選販売をする場合】 ☆経験上、簡易的な抽選販売でも大丈夫そうなら選択 OK！

「くじ引き抽選」や「投票方式」など他の抽選方法も選択可能です。しかし、事前に実行委員会が安全を確認する場合があります。（1 オペで大丈夫か、友人とのブース隣接による協力体制構築は可能か、待機列の方向など）また、イベント当日、混雑が発生し収拾がつかなかった場合、一時的に販売を中止していただくことがあります。

出展者の状況に応じて対応いたしますので、不安な点などございましたら、早めにお問い合わせください。